



電線類地中化モデル実施

? なぜこの事業を行なっているのですか？

電線類地中化とは、道路にある電線を地下に埋め、地上の電線や電柱を無くすことをいいます。

電線類地中化によって、美しい街なみが形成されるとともに、歩道が広く使えるようになるため、歩行者はもちろん、ベビーカーや車いすでも安全に道路を利用することができます。

また、地震などの大きな災害の時でも、電線が切れたり、電柱が倒れて道路をふさぐことがなくなるので、電力や通信を安定して供給することができ、救急車や消防車の通行を妨げることもなくなります。

台東区では現在、電線や電柱が無い道路を増やしていくために、電線類地中化事業をモデル実施（[☞解説①](#)）しています。

? どのようなことを行なっていますか？

電線類地中化は、まず、電線や電柱の持ち主である電力会社や通信会社との調整から始まります。

また、既に埋まっているガス管や水道管を移動させる必要がある場合には、その移設工事を行い、地下に電線を入れるための電線共同溝（[☞解説②](#)）を造る工事を実施します。

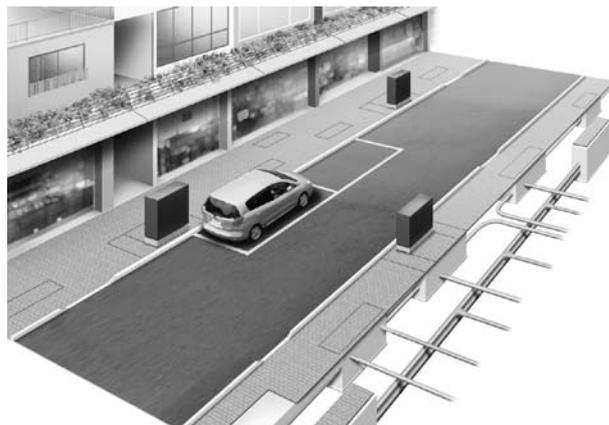
最後に、道路の舗装を復旧する工事を行って完成です。

現在は、二つの道路で、地下に埋める電線や電柱の持ち主である電力会社や通信会社との調整と電線共同溝の設計を行っています。



? 事業の進み具合はどうか?

電線類地中化モデル実施は、平成21年度から開始しており、平成21年度は、かっぱ橋本通りの調査、平成22年度は、かっぱ橋本通り300mの電線共同溝設計と、馬道通りの調査を行っています。



電線類地中化後の様子（イメージ図）

? 今後はどのように取り組んでいくのですか?

平成24年春の東京スカイツリー開業や、道路のバリアフリー化や防災性に対する意識の高まりなどにより、電線類地中化へのニーズは高まることが予想されます。

今後は、電線類地中化モデル実施の結果をふまえ、計画的に電線や電柱がない道路を増やしていきます。

■ この事業に関するお問合せは ■

都市づくり部（土木担当）土木課

03-5246-1317

【解説】

①モデル実施

モデル実施とは、本格的に事業を行う前に試験的に事業を行い、その効果や費用を検証することです。

②電線共同溝

電線共同溝とは、電線類を道路の地下に収容するための施設のことです。電線共同溝を使った電線類地中化は、区が実施する無電柱化の大きな柱となっています。